



何かとお役に、
立ちます。



トップジン[®]M 水和剤

* 印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前日数と、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法				
					本剤	チオファネートメチル					
いちじく	黒葉枯病	1,000	200~700ℓ/10a	7日	5回	14回 (塗布は3回 灌注は6回 散布は5回)	散布				
	黒かび病	1,000~1,500									
	そうか病	1,500									
キウイフルーツ	株枯病	500	1ℓ/株	定植時及び生育期(30日)	6回		灌注				
	果実軟腐病	1,000	200~700ℓ/10a	前日	5回	8回(塗布は3回、散布は5回)	散布				
オリーブ	梢枯病			30日	2回	5回(塗布は3回、散布は2回)					
かんしょ	黒斑病	200~500	-	植付前	1回	1回	20~30分間種いも または苗茎部浸漬				
さといも							20~30分間種いも浸漬				
ばれいしょ	菌核病	1,000~1,500		7日	5回	5回(種いもへの処理は1回)	散布				
やまのいも	葉淡病、炭疽病	800	-	45日	5回	5回					
やまのいも(むかご)				前日	3回	4回(種子への処理は1回 は種後は3回)					
実えんどう	褐紋病、褐斑病、灰色かび病	2,000	100~300ℓ/10a	7日	4回	5回(種子への処理は1回 は種後は4回)					
さやえんどう	角斑病、菌核病、苗立枯病	700~1,000									
いんげんまめ	炭疽病	700~1,500									
えんどうまめ	褐紋病、褐斑病、灰色かび病	1,500~2,000									
らっかせい	黒淡病、褐斑病、灰色かび病	1,500									
あずき	輪紋病、炭疽病	1,000									
だいず	菌核病	700~1,000						14日	-	-	4回(種子への処理は1回)
	紫斑病	1,000~1,500									
水稲	ばか苗病	300~500					-	は種前 は種前 (浸種前または浸種後)	1回	3回(種子への処理は1回)	粉衣
		30									6~24時間種子浸漬
		30	10分間種子浸漬								
小麦	雪腐病	2,000~2,500	60~150ℓ/10a	根雪前	3回 (出穂期以降は2回)	4回 (種子への処理は1回 散布および 無人へり散布は 合計3回 出穂期以降は2回)	散布				
	雪腐大粒菌核病	1,000	25ℓ/10a								
		500									
	赤かび病	250	14日								
	うどんこ病	1,000~1,500									
	眼紋病	2,000									
	1,000										
麦類(小麦を除く)	雪腐病	2,000~2,500	60~150ℓ/10a	根雪前	3回 (出穂期以降は1回)	3回(種子への処理は1回 出穂期以降は1回)	散布				
	赤かび病	1,000~1,500	30日								
	うどんこ病	2,000									
	眼紋病	1,000									
まめ科牧草	菌核病	2,000		100~300ℓ/10a	根雪前	1回	1回				
いね科牧草	雪腐大粒菌核病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	根雪前	2回	2回					
茶	炭疽病、白星病、褐色円星病、輪紋病	1,500	200~400ℓ/10a	(摘採)7日	1回	1回					
	黒葉腐病										
てんさい	褐斑病	2,000~3,000		7日	5回	5回					
なたね	菌核病	1,000	100~300ℓ/10a	開花前	1回	3回(開花前は1回以内 開花後は2回以内)					
	裏うどんこ病、汚葉病	1,500~2,000		開花後から収穫21日前まで	2回						
桑	輪紋病	1,000~1,500		-	3回	3回					
桑(苗木)	白紋羽病	500	-	植付前	1回		10分間根部浸漬				
ばら	うどんこ病、黒星病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	-	-	-	-				
シクラメン	灰色かび病										
ざくらそう											
ゆり	葉枯病、茎腐病										
きく	褐斑病										
カーネーション	芽腐病										
けいとう	茎腐病、輪紋病										
ほおずき	半身萎凋病										
きんせんか											
樹木類(つつじ類、かし、さくら、しんちようげ、ほけ、ポプラ、いぬつげを除く)	うどんこ病、ごま色斑点病、輪紋葉枯病 斑点症(シュドサーコスボラ菌)							1,000	200~700ℓ/10a	発病初期	5回
つつじ類	炭疽病	1,500~2,000									
	褐斑病	1,500									
さくら	うどんこ病、ごま色斑点病、輪紋葉枯病 斑点症(シュドサーコスボラ菌)	1,000	200~700ℓ/10a								
	幼果菌核病	1,000~1,500									
かし	炭疽病	1,500~2,000	200~700ℓ/10a								
	紫かび病	1,000									
じんちょうげ	うどんこ病、ごま色斑点病、輪紋葉枯病 斑点症(シュドサーコスボラ菌)	1,000	100~300ℓ/10a								
	黒点病	1,500~2,000									
ほけ	炭疽病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a								
	褐斑病	1,000									
ポプラ	うどんこ病、ごま色斑点病、輪紋葉枯病 斑点症(シュドサーコスボラ菌)	1,000	200~700ℓ/10a								
	マルゾニナ落葉病	1,500~2,000									
いぬつげ	炭疽病	1,500~2,000	200~700ℓ/10a								
	うどんこ病、ごま色斑点病、輪紋葉枯病 斑点症(シュドサーコスボラ菌)、枝枯病	1,000									
りんどう	花腐菌核病	1,500	100~300ℓ/10a	-							
花き類・観葉植物	菌核病										
観賞用アスパラガス	茎枯病	500~1,000									
チューリップ	球根腐敗病	球根重量の0.1%	-	植付前または貯蔵前	1回		球根粉衣				
べにばな	炭疽病	1,500	100~300ℓ/10a	-	2回		散布				

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法
						本剤	チオファネートメチル	
トマト	温室・ガラス室・ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病	100~200g/10a	5ℓ/10a	前日	5回	6回(種子への処理は1回 は種後は5回)	常温煙霧

本資料は2013年5月現在の登録内容に基づいています。

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	チオファネートメチル	
かぼちゃ	白斑病	1,000	100~300ℓ/10a	前日 収穫開始7日前まで	5回	6回(種子への処理は1回、 は種後は5回)	散布
きゅうり	菌核病、黒星病	1,500~2,000					
うり類(漬物用)	炭疽病、うどんこ病、つる枯病 灰色かび病						
にがうり	炭疽病、斑点病						
すいか	炭疽病						
トマト ミニトマト	葉かび病、菌核病、灰色かび病						
アスパラガス	茎枯病、立枯病	1,000					
なす	灰色かび病、黒枯病、菌核病	1,500~2,000					
ピーマン	黒枯病	4,000~6,000					
ししとう		10,000					
メロン	つる枯病、陥没病	1,500~2,000					
にら	白斑葉枯病、乾腐病	1,000	3ℓ/m ²	21日	1回	2回(種子への処理は1回 は種後は1回)	灌注
レタス	ビッグベイン病	1,500	1.5ℓ/m ²	45日	2回	3回(種子への処理は1回 は種後は2回)	散布
非結球レタス	菌核病、灰色かび病	1,500~2,000	7日				
はくさい	白斑病	1,500	7日				
セルリー	斑点病		60日				
せり	葉枯病		14日				
キャベツ	菌核病	1,000~1,500	3日				
ブロッコリー		2,000	14日				
れんこん	褐斑病	1,500	前日	3回			
オクラ	葉すす病						
ズッキーニ	うどんこ病						
いちご	萎黄病						
いちご	萎黄病	300~500	—	株冷蔵栽培の株冷蔵前 仮植前	3回	4回(種子への処理は1回 は種後は3回)	5分間株浸漬
			3ℓ/m ²	仮植時及び仮植栽培期			灌注
葉たまねぎ	黒点葉枯病	1,000	100~300ℓ/10a	14日	3回	4回(種子への処理は1回 は種後は3回)	散布
たまねぎ	小菌核病	500~1,000	前日				
	灰色腐敗病	500	—	定植直前	6回 (定植後は5回)	7回(種子への処理は1回 苗根部浸漬は1回 無人ヘリ散布は3回、散布は5回)	5分間苗根部浸漬
		1,000	100~300ℓ/10a	7日			3回
ねぎ	小菌核腐敗病	250	チーンポット1冊 (30×60cm、土壌量 約5ℓ)当たり1ℓ	定植直前	1回	5回(種子への処理は1回 苗根部浸漬及び 苗床灌注は合計1回 散布及び株元散布は 合計3回)	苗床灌注
	萎凋病、小菌核腐敗病	20	—	—	—	—	3分間苗根部浸漬
		200	—	—	—	—	30分間苗根部浸漬
らっきょう	乾腐病	1,000	700ml/m ²	7日	3回	3回	株元灌注
しょうが	いもち病	1,000	100~300ℓ/10a	—	2回	2回	散布
食用ゆり	鱗茎さび症	50	—	植付前	1回	1回	球根瞬間浸漬
食用ぎく	褐斑病	1,500	100~300ℓ/10a	28日	2回	3回(種子への処理は1回 は種後は2回)	散布
食用べにばな(花)	炭疽病			14日			
みつば	菌核病	2,000	—	14日(ただし、伏せ込み 栽培は伏せ込み前まで)	2回	3回(種子への処理は1回 は種後は2回)	散布
みしまさいこ	炭疽病	1,000	—	30日			
たばこ(苗床)	腰折病	1,000~2,000	2ℓ/m ²	苗床期	1回	2回	散布
	黒根病	1,000					
たらのぎ	芽枯症	2,000	0.1~0.3ℓ/m ²	伏せ込み後萌芽前(21日)	1回	3回(伏せ込み前は2回 伏せ込み後は1回)	駒木散布
	そうか病	1,500	200~700ℓ/10a	伏せ込み前(60日)	2回		
あけび(果実)	うどんこ病	1,000	—	7日	3回	3回	散布
	そうか病	30	8ℓ/10a	4~6月	—	—	空中散布
みかん	灰色かび病、そうか病	1,000~1,500	200~700ℓ/10a	前日	5回	8回(塗布は3回、 散布・空中散布・ 無人ヘリ散布は合計5回)	散布
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害(青かび病、緑かび病、軸腐病)	2,000~3,000		7日			
りんご	輪紋病、すす点病、すす斑病	1,500	200~700ℓ/10a	前日	6回	10回(塗布は3回 灌注は1回、散布は6回)	散布
	腐らん病、モニア病(実腐れ)	1,000~1,500					
	黒星病、黒点病、褐斑病、うどんこ病	1,500~2,000					
		500~1,000	—	休眠期~生育期	—	—	灌注
りんご(苗木) なし(苗木)	白紋羽病	500	—	植付前	1回	6回	10分間根元浸漬
		500~1,000	—	休眠期	—	—	灌注
なし	黒星病、うどんこ病	1,500~2,000	200~700ℓ/10a	前日	6回	11回(塗布は3回、灌注は1回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回)	散布
	輪紋病	1,000~1,500					
	腐らん病	1,000					
	心腐れ症(胴枯病菌)、胴枯病	1,500					
ぶどう	黒とう病、灰色かび病、褐斑病、うどんこ病	1,500~2,000	—	45日	1回	5回(塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は1回)	灌注
	晩腐病、芽枯病	1,000					
	苦腐病	1,000~1,500					
びわ	白紋羽病	300~500	—	収穫後(7月上旬~9月上旬)	—	—	灌注
	ごま色斑点病	800	—	14日	3回	7回(塗布は3回 散布は3回、灌注は1回)	散布
	灰斑病	1,000	—	前日	6回	9回(塗布は3回、散布は6回)	
かりん・マルメロ	腐らん病	1,000~1,500	200~700ℓ/10a	前日	3回	6回(塗布は3回、散布は3回)	
おうとう	灰星病、せん孔病、幼果菌核病			14日			
かき	炭疽病、落葉病、うどんこ病	1,000	—	前日	6回	10回(塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回)	散布
もも	灰星病、ホモフシス腐敗病、黒星病						
もも(苗木)	枝折病	1,000	—	植付前	1回	7回(散布は6回)	10分間根元浸漬
	白紋羽病	500	—	—	—	—	—
小粒核果類	黒星病、黒粒枝枯病	1,000~1,500	200~700ℓ/10a	21日	3回	すももは6回 (塗布は3回、休眠期の散布は1回 生育期の散布は3回) その他の小粒核果類は6回 (塗布は3回、散布は3回)	散布
	灰星病、環紋葉枯病、葉炭疽病	1,500	—	—	—	—	—

トップジンM 水和剤

●有効成分：チオファネートメチル・・・70.0%
●毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

⚠️ 効果・薬害等の注意

- かんきつの貯蔵病害防除に使用する場合には、青かび病、緑かび病、軸腐病、黒斑病、灰色かび病には有効ですが、黒腐病防除が主体の場合には使用しないでください。また収穫前3週間以内（かんきつ（みかんを除く）は収穫前2～3週間の間）に1回散布すると効果的です。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生ずるおそれがあるので注意してください。
- りんごの腐らん病に対しては、生育期の通年散布としてください。（感染侵入阻止）
- いちじくの株枯病に対して灌注処理する場合は、1ヶ月間隔で使用することをおすすめします。
- 果樹の白紋羽病に対し灌注処理する場合は、樹幹部周辺の土壌を木の大きさに応じて掘り上げ、根を露出させ、病根をていねいに除去したのち、所定濃度の希釈液を1本当たり成木で200～300ℓ、苗木では20～30ℓ灌注してください。
- 大型散布機で使用する場合には、各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- いちご萎黄病防除では、次の注意を守ってください。
 - 萎黄病多発地では、植付前に土壌くん蒸を行ない、本剤処理と組み合わせると有効です。
 - 灌注処理は、土壌の種類や条件によって効果に差があるので、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - 本剤の灌注処理は地温の高い（20℃以上）仮植時期に行なってください。（効果）
 - 灌注処理では、土壌条件などにより葉色が劣ったり多少生育抑制がみられる場合もありますが、以後の生育や収量への影響は認められていません。
 - 根部浸漬では処理時間を厳守してください。（薬害）
- いちごうどんこ病防除では、次の注意を守ってください。
 - 本剤による株浸漬処理は、株冷蔵栽培いちごの定植時に、無病苗を得るため冷蔵前に処理するもので、うどんこ病の発生まん延時期の防除とは異なるので注意してください。
 - 薬液に展着剤を加用し、水洗した苗木全体を浸漬し、中で2～3回上下にゆすってください。
 - 処理した苗木は、水洗せずに半乾きにした後、ビニール袋に入れ、慣行に従って冷蔵してください。
 - 冷蔵後、定植前の処理はさけ、必ず冷蔵前に処理してください。（効果）
- だいたの紫斑病防除には、種子消毒のみでは不十分なので生育期の散布による防除と組み合わせ使用してください。散布は落花後～若莢期に2～3回散布してください。
- かんしょ、さといもの種もみ消毒後は、水洗せずに薬液が乾いてから植え付けてください。薬剤処理した種もみは食用・飼料に使用しないでください。
- 麦の雪腐病防除に使用する場合、散布量は10アール当たり100ℓが標準です。なお1回散布の場合はなるべく根雪近くに行なってください。
- 小麦の少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 水稻の種子消毒では次の注意を守ってください。
 - 消毒後は水洗せずに浸種または、は種してください。
 - 浸漬処理薬液の温度は10℃以下にしないでください。
 - もみと薬液の容量比は1：1以上とし、種もみはサラン網などの目のあらい袋を用い、薬液中でよくゆすってください。
 - 低濃度（300～500倍）長時間浸漬の場合は、浸漬処理中1～2回かきはんしてください。

- 処理済み種子を浸種するときは次の注意を守ってください。
 - ①処理した種もみは少なくとも数時間は放置して風乾後浸種してください。
 - ②浸種は停滞水中で行なってください。
 - ③浴比は1：2とし、水の交換はしないでください。ただし液温が高温の場合など、酸素不足になるおそれがあるときは、静かに換水してください。
- 薬剤処理した種子は、食糧・飼料に使用しないでください。
- アスパラガスの茎枯病防除は、収穫打ち切り後、残茎を取り除き、新しく萌芽した茎を対象としてください。
- チューリップの球根粉衣は、植付前または貯蔵前に球根1kgに対し、本剤1gを均一に粉衣してください。
- たばこの親床での処理はは種後10日目から1週間間隔で、子床での処理は仮植後7日目から1週間間隔で薬液を散布してください。
- 過度の連用をさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせ、輪番で使用してください。（耐性菌出現回避）
- ボルドー液・塩化銅等の無機銅剤との混用はさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。また、桑に使用後3日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠️ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取り扱いに十分注意してください。
- 街路・公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に、小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

⚠️ 常温煙霧の場合の注意（ハウスなど）

- 専用の常温煙霧機により、所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定および使用に当たっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 作業はできるだけ夕刻に行ない、作業終了後6時間以上、できれば翌朝まで密閉してください。
- 常温煙霧中はハウス内に入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

水産動植物への影響：水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03)3245-6176 FAX(03)3245-6084
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315